

専門分野・基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	診療に伴う看護Ⅱ 1単位 30時間（生体機能管理・呼吸・循環）		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	山田美季	実務経験	有
<p><科目のねらい> 本科目は、治療、検査、処置などの内部環境を調整する技術の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために実施される診療の補助技術に必要な基本的知識と援助技術の方法を習得することがねらいである。</p> <p><到達目標> 1. 生体情報のモニタリングの意義と看護の役割を理解する。 2. 吸入・吸引の目的と方法を理解し、その援助の実際を理解する。 4. 抹消循環促進ケアの目的と方法を理解し、その援助がわかる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 症状・生体機能管理技術の基礎知識	講義	
2回目	1. 検体検査 1) 血液検査（静脈血採血・動脈血採血・血糖測定）	講義	
3回目	1. 検体検査 1) 尿検査・便検査・喀痰検査	講義	
4回目	1. 生体情報のモニタリング 1) 心電図モニター	講義	
5回目	1. 生体検査を受ける患者の看護	講義	
6回目	1. 生体情報のモニタリング 1) パルスオキシメーター 2) 血管留置カテーテルモニター	講義	
7回目	1. 酸素吸入療法の基礎知識	講義	
8回目	1. 酸素吸入療法の実際	演習	
9回目	1. 排痰ケアの基礎知識 1) 排痰ケア 2) 吸引	講義	
10回目	1. 呼吸・循環を整える援助の実際 1) 一時的吸引（口腔）	演習	
11回目	1. 呼吸・循環を整える援助の実際 1) 一時的吸引（鼻腔）	演習	
12回目	1. 人工呼吸療法 2. 吸入	講義	
13回目	1. 体温管理の技術	講義	
14回目	1. 末梢循環促進ケア	講義	
15回目	1. 終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	身体の内環境を調整する技術は、直接患者に影響する技術であるため知識が非常に重要です。演習はモデルを用いて行いますが、実際の患者に行うつもりで真剣に取り組みましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
参考書			